

追悼

あなたから絆、仲間の大切さを学びました… ありがとう 辻 猛 委員長



陸前高田の皆さんと。右から3人目が奥様、左から5人目が辻さん（平成28年6月撮影）

辻 ひでみ

仲間の タングル

一人はみんなのために、みんなは一人のために

一度決めたことは最後までやり遂げる、男気のある人でした。皆様のお力を借りて、北陸ダンプでは重責を担い、大変喜んで：皆様の心に寄り添つてきました。

東日本大震災から丸7年になりますが、毎年のように現地に足を運び、ボランティア活動にも熱心だった夫。辛いことは自分のことのように受け止め、嬉しいことがあれば一緒に喜んで：皆様の心に寄り添つてきました。

闘病中は万全な身体ではない中、できる限りのことをしようと大きなハンドルを握り続けていた頑張り屋です。

夫 辻猛は平成30年3月30日、満69歳にて生涯をとじました。

お仲間や家族と過ごした楽しい思い出を振り返つていることでしょう。これまで良きご縁を結んでいただきました皆様へ、深く感謝申し上げます。

辻委員長は、ダンプ労働者の生活改善と権利向上のため、交通安全講習会の開催、一人親方労災保険の加入促進、就労闘争など組合活動の先頭に立ち、北陸ダンプ支部の発展に大きく貢献されました。常々、組合を日本一の組織にしようと語つておられました。

心よりご冥福をお祈りいたします。

平成30年3月30日午後7時4分、辻猛北陸ダンプ支部執行委員長がすい臓がんのため、逝去されました。昨年6月にすい臓にがんが見つかり、闘病されていました。69歳でした。

平成28年8月の支部大会で「団結ガンバロー」



ボランティア活動がライフワーク

東日本大震災の重機ボランティアを機に、被災地への支援活動は辻委員長のライフケークといつていいくほど、熱心に取り組まれていました。平成23年4月に1回目の重機ボランティアを派遣して以降、6年間で17回も現地に行つてボランティア活動に取り組みました。



市街に散乱した流木、家屋がれきを人力で撤去するのが困難な中、いち早くその必要性を感じて、10tダンプやパワーショベル、移動クレーンなどを福井から持ち込んだ重機ボランティアは注目を集めました。



辻 猛 氏（つじ・たけし）享年69歳

平成17年8月、北陸ダンプ支部福井分会に加入、翌18年10月に越前分会を結成し、分会副委員長に就任。19年8月北陸ダンプ支部副執行委員長、22年8月支部執行委員長に就任。23年3月11日に発生した東日本大震災では、いち早く重機ボランティアを結成し、ボランティア活動の陣頭指揮にあたりました。その後も、毎年、私財も投じて支援物資を持って現地入りし、被災地の皆さんを励まし続けました。

全労連・全日本建設交通一般労働組合

石川県本部 北陸ダンプ支部

金沢市木越町チ七七一二

☎ (076) 257-4886
FAX (076) 257-4886

